令和８年度　福岡県立小倉西高等学校

ＰＴＡ総会議案書

令和８年度　ＰＴＡ定期総会次第

（総会成立宣言）

（１）開会のことば

（２）ＰＴＡ会長挨拶

（３）校長挨拶

（４）議長選出

（５）議事

① 令和７年度活動報告　・・・・・・・・・２

② 令和７年度決算報告　・・・・・・・・・３～４

③ 令和７年度会計監査報告　・・・・・・・・・３～４

④ 令和８年度役員選出

⑤ 令和８年度活動計画（案）・・・・・・・・・５

⑥ 令和８年度予算（案）・・・・・・・・・・６～７

⑦ その他

（６）旧役員挨拶　　新役員紹介

（７）令和８年度　　管理職・校務運営委員紹介

（管理職）	校　長	浪﨑　陽一	
（管理職）	教　頭	井上　直喜	
（管理職）	事務長	平田　順子	
教務部長	主幹教諭	福野　恭子	（広報）
生徒指導部長	主幹教諭	鳥井　秀樹	（安全・安心）
進路指導部長	教　諭	河口　伸一	（広報）
企画研修部長	指導教諭	鈴木　敬輔	（広報）
第１学年主任	教　諭	武吉　大輔	（学年）
第２学年主任	教　諭	徳永　仁	（学年）
学年総括部長・第3学年主任	教　諭	馬場　正人	（学年）
教務課長	教　諭	江﨑　匠	（広報）
情報広報課長	教　諭	佐々木　篤	（広報）
生徒指導課長	教　諭	西川　崇	（安全・安心）
保健課長	教　諭	吉留　加織	（安全・安心）
進路指導課長	教　諭	井無田　了	（広報）
キャリア教育課長	教　諭	亀﨑　大樹	（広報）
研修図書課長	教　諭	庄島　圭介	（広報）
企画課長	教　諭	高田　優子	（安全・安心）

（８）閉会のことば

（９）諸連絡

令和7年度 PTA活動報告

月 日	事　　項	内　　容
4/28	PTA総会	令和6年度活動報告・6年度決算・7年度予算審議
4/28	PTA委員総会	各委員会
5/7	広報委員会	第一回広報委員会(委員紹介・テーマ、デザイン決め・活動予定確認他)
5/15	北九州地区高P連定期総会	(小倉リーセントホテル)
5/22	第1回役員会・理事会	新役員紹介・令和6年度の活動について他
5/24	学年委員会	第一回学年委員会定例会
6/4	体育大会	役員・各委員会
6/4	安全安心委員会	体育大会警備
6/4	広報委員会	体育大会撮影
6/5	県高P連定期総会	(福岡リーセントホテル)
6/6	広報委員会	野球大会撮影
6/13	学年委員会	第二回学年委員会定例会
6/19、20	九高P連大会	沖縄大会
6/25	食堂試食会	日替わり定食(チキン南蛮)他試食 (参加者84名)
6/25	広報委員会	食堂試食会撮影
6/25	学年委員会	食堂試食会運営
7/10	第2回役員会・理事会	役員会・各委員会活動・体育大会について他
7/17	学年委員会	第三回学年委員会定例会
7/29	広報委員会	第二回広報委員会(3年生メッセージ回収・美すじレイアウト相談)
7/30	3学年強化学習会激励会	ウイダーインゼリー配付
7/31	県高P連指導者研修会	(福岡リーセントホテル)
8/21、22	全国高P連全国大会	三重大会
9/11	第3回役員会・理事会	高P連全国大会の報告について他
9/18	広報委員会	第三回広報委員会(写真選び)
9/19	学年委員会	第四回学年委員会定例会
10/1	第4回役員会・理事会	文化祭・日帰り研修旅行について他
10/3	学年委員会	第五回学年委員会定例会
10/10、11	文化祭	ＰＴＡバザー (キッチンカー・西高パン・ジュース他)
10/10、11	学年委員会	文化祭(バザー前日準備・フードトラック導入)
10/11	安全安心委員会	文化祭バザー
10/10.11	広報委員会	文化祭撮影
11/11	北九州地区公立高等学校PTA役員研修会	(小倉リーセントホテル)
11/14	学年委員会	第六回学年委員会定例会
11/26	研修日帰り旅行	北九州市立大学・道の駅むなかた他
11/26	学年委員会	日帰り研修旅行(企画及当日運営)
11/26	広報委員会	日帰り研修旅行撮影
12/4	広報委員会	第四回広報委員会(写真・メッセージ誤字チェック)
12/11	第5回役員会・理事会	共通テスト激励品・卒業記念品について他
12/12	広報委員会	第五回広報委員会
1/16	共通テスト激励会	必勝合格カイロ・キットカット配付
2/2	広報委員会	第六回広報委員会(校正チェック他)
2/12	第6回役員会・理事会	来年度の役員選考について他
2/18	北九州地区公立高等学校PTA連合会会長連絡会議	(小倉リーセントホテル)
2/26	学年委員会	第七回学年委員会定例会
2/27	広報委員会	美すじ107号配付
3/1	卒業式	
4/7	入学式	
4/24	第7回役員会・理事会	令和7年度決算、令和8年度予算・役員選考・PTA総会・津苑会総会会誌広告協賛について他

令和7年度 PTA会費決算書

福岡県立小倉西高等学校　（単位：円）

収入の部

科目	7年度 予算額 ①	7年度 決算額 ②	比較増減 ②－①	内容
繰越金	3,130,417	3,130,417	0	6年度からの繰越
会費	6,720,000	6,872,000	152,000	会費 800円×延べ8,590件
雑収入	900	7,263	6,363	預金利息等
合計	9,851,317	10,009,680	158,363	

支出の部

科目			7年度 予算額 ①	7年度 決算額 ②	差引残額 ①－②	内容
運営費			4,420,000	3,612,272	807,728	
	事務局費		2,610,000	2,198,789	411,211	
		会議費	300,000	72,641	227,359	役員会、委員交通費、茶代
		会費負担金	250,000	204,600	45,400	県高P連会費
		人件費	1,830,000	1,829,401	599	PTA雇用事務員給与、保険料
		渉外費	100,000	56,012	43,988	対外折衝費
		事務費	80,000	34,135	45,865	用紙・文具代等
		通信費	30,000	2,000	28,000	切手代他
		諸経費	20,000	0	20,000	
	事業費		1,810,000	1,413,483	396,517	
		研修会費	700,000	562,960	137,040	各研修会
		活動費	1,000,000	791,243	208,757	委員会活動費
		慶弔費	100,000	59,280	40,720	祝儀、香典等、役員の表彰記念品
		雑費	10,000	0	10,000	
学校援助費			5,095,000	3,681,778	1,413,222	
	教育充実費		4,500,000	3,456,588	1,043,412	
		学校行事費	1,200,000	1,096,435	103,565	入学式・卒業式、文化祭・体育大会等経費
		図書購入費	800,000	799,985	15	図書館図書購入費
		教材教具費	50,000	31,068	18,932	各教科等教材費
		研究部会費	380,000	231,600	148,400	各教科研究部会費等
		部活動指導手当	1,870,000	1,097,500	772,500	
		学校支援整備準備金	200,000	200,000	0	
	維持費		310,000	135,100	174,900	
		保健衛生費	50,000	42,902	7,098	アルコールディスペンサー等
		需用費	160,000	49,958	110,042	新聞、消耗品等
		環境整備費	100,000	42,240	57,760	
	諸費		285,000	90,090	194,910	
		校務費	200,000	52,800	147,200	校務関係書物諸費用
		旅費	80,000	37,290	42,710	
		雑費	5,000	0	5,000	
予備費			336,317	330,585	5,732	
合計			9,851,317	7,624,635	2,226,682	

収入金額　10,009,680 － 支出金額　7,624,635 =残高　2,385,045（次年度に繰り越します）

◎学校支援整備準備金収支決算書

収入の部

費目	7年度 予算額 ①	7年度 決算額 ②	比較増減 ②－①	内容
繰越金	4,184,762	4,184,762	0	6年度からの繰越
学校支援整備準備金	200,000	200,000	0	
雑収入	660	8,349	7,689	預金利息等
合計	4,385,422	4,393,111	7,689	

支出の部

費目	7年度 予算額 ①	7年度 決算額 ②	差引残額 ①－②	内容
学校支援整備準備金	200,000	200,000	0	楽器代
	0	0	0	
合計	200,000	200,000	0	

収入金額　4,393,111 － 支出金額　200,000　=残高　4,193,111　（次年度に繰り越します）

以上のとおり収支決算を報告します。

令和8年4月24日

福岡県立小倉西高等学校PTA　会長　槇山 暁

令和7年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和8年4月24日

監査　中　美貴　監査　河村紀子

令和7年度　学術・文化・体育振興費決算書

収入の部　　福岡県立小倉西高等学校　（単位：円）

費目	7年度 予算額①	7年度 決算額②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	2,020,300	2,020,300	0	6年度からの繰越金
会費	3,585,600	3,612,600	27,000	@450×延べ8,028件
雑収入	110	4,354	4,244	預金利息
合計	5,606,010	5,637,254	31,244	

支出の部

費目	7年度 予算額①	7年度 決算額②	差引残額 ①− ②	内容
皆勤賞	200,000	66,000	134,000	図書カード
学術優秀賞	150,000	84,000	66,000	賞状用紙・優秀賞功労賞図書カード
学力補充費	200,000	122,828	77,172	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	400,000	160,380	239,620	バトン部・アート部(外部講師)
部活動遠征費補助	300,000	200,000	100,000	九州・全国大会出場物品補助
部活動応援費	700,000	473,660	226,340	ユニフォーム代
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	99,440	560	トレーニング室器具充実
損害保険料	100,000	42,297	57,703	野球(硬式)賠償責任保険料
生徒会補助	1,100,000	1,100,000	0	生徒会補助
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	600,000	295,818	304,182	自動車税、整備料、保険代
学術文化体育振興費準備金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費準備金口座に預入
教育相談費	200,000	34,120	165,880	カウンセリング報償費
予備費	956,010	560,789	395,221	大規模改修に係る費用、プール薬品
合計	5,606,010	3,839,332	1,766,678	

収入決算額 5,637,254 −支出決算額 3,839,332 ＝差引金額 1,797,922（次年度に繰り越します）

令和7年度学術・文化・体育振興費準備金決算書

収入の部

費目	7年度 予算額①	7年度 決算額②	比較増減 ②−①	内容
繰越金	4,155,575	4,155,575	0	6年度からの繰越金
積立金	600,000	600,000	0	学術文化体育振興費から
雑収入	620	6,422	5,802	預金利息
合計	4,756,195	4,761,997	5,802	

支出の部

費目	7年度 予算額①	7年度 決算額②	差引残額 ①− ②	内容
	0	0	0	
合計	0	0	0	

収入決算額 4,761,997 −支出決算額 0 ＝差引金額 4,761,997（次年度に繰り越します）

以上のとおり収支決算を報告します。

令和8年4月24日

福岡県立小倉西高等学校PTA　会長　槇山 暁

令和7年度決算について監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和8年4月24日

監査　中　美貴　　監査　河村紀子

令和８年度　活動計画 ~~(案)~~

本規約の第２条、第３条に基づき事業の活性化を目指し、本年度の重点項目を次のように計画する。

各委員会の活動と学校行事への積極的協力

役　員　会	ＰＴＡ交流会		
	新規事業の企画		
	体育大会ＰＴＡ企画		
	文化祭ＰＴＡ企画		
委　員　会	内　　容	期　日	
学年委員会	学校食堂試食会	未定	
	ＰＴＡ研修（大学・地域視察等）	未定	
	文化祭バザー主催	１０月	
広報委員会	会報「美すじ」発行 年１回発行	1-3 学期	
安全・安心委員会	体育大会・校内パトロール	６月	
	文化祭・バザー手伝い	１０月	
役員選考委員会	令和９年度役員選考	３学期	

令和8年度 PTA会費予算書[redacted]

福岡県立小倉西高等学校　（単位：円）

収入の部

科目	本年度予算額 ①	7年度予算額②	比較増減 ①－②	内容
繰越金	2,385,045	3,130,417	△ 745,372	7年度からの繰越
会費	6,336,000	6,720,000	△ 384,000	@800×生徒、職員 延べ7,920名
雑収入	955	900	55	預金利息等
			0	
合計	8,722,000	9,851,317	△ 1,129,317	

支出の部

科目			本年度予算額 ①	7年度予算額②	比較増減 ①－②	内容
運営費			4,301,000	4,420,000	△ 119,000	
	事務局費		2,496,000	2,610,000	△ 114,000	
		会議費	200,000	300,000	△ 100,000	各委員会会議交通費等
		会費負担金	250,000	250,000	0	高P連会費
		人件費	1,880,000	1,830,000	50,000	PTA雇員給与、社会保険料、雇用保険料
		渉外費	80,000	100,000	△ 20,000	対外折衝費、来客用お茶代
		事務費	60,000	80,000	△ 20,000	諸用紙、事務用品代
		通信費	20,000	30,000	△ 10,000	切手代等
		諸経費	6,000	20,000	△ 14,000	
	事業費		1,805,000	1,810,000	△ 5,000	
		研修会費	700,000	700,000	0	全国大会、九州大会、各研修会
		活動費	1,000,000	1,000,000	0	各委員会等活動費
		慶弔費	100,000	100,000	0	会員の慶弔費、役員の表彰記念品
		雑費	5,000	10,000	△ 5,000	
学校援助費			4,085,000	5,095,000	△ 1,010,000	
	教育充実費		3,680,000	4,500,000	△ 820,000	
		学校行事費	1,150,000	1,200,000	△ 50,000	入学式・卒業式、体育大会、文化祭等
		図書購入費	800,000	800,000	0	図書館図書購入
		教材教具費	50,000	50,000	0	保健雑誌、新聞代等
		研究部会費	280,000	380,000	△ 100,000	各種協議会、研究部会費等
		部活動指導手当	1,400,000	1,870,000	△ 470,000	
		学校支援準備金	0	200,000	△ 200,000	
	維持費		230,000	310,000	△ 80,000	
		保健衛生費	50,000	50,000	0	
		需用費	100,000	160,000	△ 60,000	消耗品代
		環境整備費	80,000	100,000	△ 20,000	
	諸費		175,000	285,000	△ 110,000	
		校務費	100,000	200,000	△ 100,000	校務関係諸費用
		旅費	70,000	80,000	△ 10,000	研修会等旅費
		雑費	5,000	5,000	0	
予備費	予備費		336,000	336,317	△ 317	
合計			8,722,000	9,851,317	△ 1,129,317	

令和8年度 学校支援整備準備金予算書[redacted]

収入の部

科目	本年度予算額 ①	7年度予算額②	比較増減 ①－②	内容
繰越金	4,193,111	4,184,762	8,349	7年度からの繰越
学校支援準備金	0	200,000	△ 200,000	
雑収入	889	660	229	預金利息等
合計	4,194,000	4,385,422	△ 191,422	

支出の部

科目	本年度予算額 ①	7年度予算額②	比較増減 ①－②	内容
合計	0	0	0	

令和8年度 学術・文化・体育振興費予算書[案]

福岡県立小倉西高等学校 （単位：円）

収入の部

費目	本年度予算額①	7年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	1,797,922	2,020,300	△ 222,378	7年度からの繰越
会費	3,391,200	3,585,600	△ 194,400	@450×延べ7,536
雑収入	878	110	768	預金利息
合計	5,190,000	5,606,010	△ 416,010	

支出の部

費目	本年度予算額①	7年度予算額②	比較増減①－②	内容
皆勤賞	150,000	200,000	△ 50,000	図書カード等
学術優秀賞	150,000	150,000	0	賞状用紙、図書カード
学力補充費	200,000	200,000	0	共通テスト激励会・強化学習会
部活動指導手当	600,000	400,000	200,000	部活動外部講師等
部活動遠征費補助	250,000	300,000	△ 50,000	九州大会、全国大会補助
部活動応援費	700,000	700,000	0	横断幕・懸垂幕・ユニホーム補助
部活動施設設備整備費(少額分)	100,000	100,000	0	小規模な施設設備整備
野球部損害保険料	90,000	100,000	△ 10,000	野球部保険料
生徒会補助	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	生徒会補助
生徒会イベント補助	0	0	0	
マイクロバス整備維持費	550,000	600,000	△ 50,000	税、整備料、保険料
学術文化体育振興費準備金	500,000	600,000	△ 100,000	積立金口座に預入
教育相談費	100,000	200,000	△ 100,000	カウンセリング報償費
予備費	800,000	956,010	△ 156,010	大規模改造工事に係る費用、プール薬品
合計	5,190,000	5,606,010	△ 416,010	

◎令和8年度学術・文化・体育振興費準備金予算書[案]

収入の部

費目	本年度予算額①	7年度予算額②	比較増減①－②	内容
繰越金	4,761,997	4,155,575	606,422	7年度からの繰越
積立金	500,000	600,000	△ 100,000	学術文化体育振興費から
雑収入	1,003	620	383	預金利息
合計	5,263,000	4,756,195	506,805	

支出の部

費目	本年度予算額①	7年度予算額②	比較増減①－②	内容
			0	
合計	0		0	

令和8年度 PTA役員・理事名簿~~(案)~~

役職名	氏名	年	組
会　長	畔津　憲司	2	4
副会長	末次　のり子	3	6
副会長	宮崎　志麻	2	3
副会長	植津　怜美	2	2
副会長	金　鐘姫	1	5
書　記	中惠　景子	1	4
会　計	杉浦　佳余子	1	3・5
監　査	平井　由香		
監　査	嵯峨山　久美		
安全・安心委員長	穴見　裕美	3	6
〃 副委員長	葛城　泰代	3	2
〃 副委員長	深澤　久美子	3	3
広報委員長	森　絵美	2	5
〃 副委員長	河野　麻衣	3	4
〃 副委員長	中山　麻衣	2	3
学年委員長	松本　智子	2	3
〃 副委員長	田中　治子	2	1
〃 副委員長	高柳　直美	2	2
〃 副委員長	平野　喜子	2	2
校　長	浪﨑　陽一		
教　頭	井上　直喜		
事務長	平田　順子		

小倉西高等学校グランドデザイン

創立128年の歴史と伝統

校訓　強く　正しく　美はしく

強　く　→　困難に耐えて生き抜く逞しさ
正しく　→　確かな学力と公正な判断力
美はしく　→　礼儀正しく誠実な心

スクール・ミッション（西高が目指す学校像）

知性と品格を備え、社会をけん引する人材を育成する学校。

・探究的な学習活動や生徒が企画運営する学校行事等を通して、高い学力と公正な判断力を持ち、自ら考え主体的に行動し、社会変革を実現する、心身ともにたくましい人材を育成します。

スクール・ポリシー（西高の3つの教育方針）

アドミッション・ポリシー（本校が求める生徒像）
・自らの将来を真剣に考え、主体的に学ぶ意欲を持った生徒
・協調性や主体性に富み、豊かな心を持った生徒
・失敗を怖れず何事にも積極果敢に挑戦する生徒

カリキュラム・ポリシー（本校が展開する教育活動）
・生徒が主体的・協働的に企画運営する学校行事の実施
・地域の教育資源を活用した体験活動・探究活動の実施
・ICTを活用した個別最適な学びの提供

グラデュエーション・ポリシー（本校が目指す資質・能力）
・主体的に学び続け、自己実現を目指す生徒の育成
・他者を尊重し、他者と協働する力を持った生徒の育成
・変化に柔軟に適応する力を持った生徒の育成

⇔

地域
ＰＴＡ
中学校
大学
津苑会（同窓会）
スクールカウンセラー
訪問相談員

「 鍛ほめ福岡メソッド 」の実践 ～鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす～

小倉西高校はみずからすすんでじぶんを高める学校です。

「三筋（みすじ）」の伝統：福岡県立小倉高等女学校であった大正元年（1912年）当時、本校の制服と社会進出を果たした職業婦人の制服とが紛らわしくなり袴に筋を付けることになった。福岡高女（現在の福岡中央高校）は裾に二本線、小倉師範附属小学校（現在の福岡教育大学附属小倉小学校）が一本線を付けていたことから、区別のため本校は袴と校章に三本線をつけることとなった。上記キャッチフレーズはこの「三筋（みすじ）」の伝統に由来する。

令和8年度の教育重点目標

1　教育内容の充実と改善
① 大学入試改革の動向等に柔軟に対応できるカリキュラム構築と適切な観点別学習評価の推進
② 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善、教育内容の高度化、ＩＣＴ機器の利活用
③ ＳＤＧｓをテーマとする文理融合型探究活動の推進、産学官との連携強化
④ 進路実現に効果的なキャリア教育の推進、中高連携、高大連携等学校外の教育力の活用
⑤ 「社会に開かれた教育課程」の理念に基づく探究活動による生徒の課題発見能力・課題解決能力の育成とコミュニケーション能力の向上

2　生徒の人格形成に資する取組
① 挨拶・服装・礼儀等、品格ある言動を身に付けさせる生徒指導の充実
② 特別活動を通じた主体性・協調性の向上とリーダーシップの育成（創立１３０周年に向けて）
③ 特別支援教育の視点に立った多様性の受容、互いを尊重する人権教育・道徳教育の充実
④ 成人年齢引き下げに伴う主権者教育、消費者教育の推進

各部教育活動方針

Ⅰ　教　務　部
① 「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善と教授内容の高度化
② 個別最適な学びの実現に向けたＩＣＴの利活用
③ 地域や保護者とのコミュニケーションを基盤とした、戦略的かつ魅力的な学校情報の発信
④ 「情報Ⅰ」等の新学習指導要領や大学入学共通テストを見据えた、個別最適な学びを支えるＩＣＴの高度利用

Ⅱ　生徒指導部
① 状況に応じた適切な判断や行動ができる自己指導力の育成
② 社会生活に必要な規範意識やマナー意識の高揚と人格育成
③ Agency（主体性・自立性）教育の推進および教育相談体制の充実
④ 生徒の社会規範意識・倫理感（人権意識）・自己指導力の育成
⑤ 安心安全な学校環境整備・危機管理体制の構築

Ⅲ　進路指導部
① 社会情勢を考え、主体的に自分自身の進路を探究することのできる生徒の育成
② 新課程入試結果(傾向・対策)を十分に分析した職員による指導体制の構築
③ 進路目標を明確にし、主体的に学習する生徒の育成
④ 自ら情報収集を行い、自身の課題を認識・解決していく生徒の育成

Ⅳ　企画研修部
① 現在の教育的課題に対する教員の資質能力の総合的な向上を支援する
② 令和の日本型学校教育における教職員の教科指導力の向上を支援する
③ 教育内容をより充実させるため、教育活動全体で図書館の活用を推進する
④ 式典や学校行事が円滑に実施できるように、早期に綿密な計画を立てる
⑤ 学校内の環境整備に努め、教育活動が円滑に行われるように庶務営繕に努める

Ⅴ　学年統括部
（１）学年統括部
① 生徒自ら考え行動し検証する「総合的な探究の時間」の構築
② 学年の枠を越えた学校行事やＳＤＧｓ活動の企画・立案・実施
③ 産学官との連携を強化し、ＳＤＧｓをテーマとする文理融合型探究活動の推進

（２）第１学年
① 基本的生活習慣の確立と自主性・自立性・協調性をもった生徒の育成
② 学習意欲の向上と進路意識の高揚

（３）第２学年
① 自ら考え主体的に行動するとともに、他者と協働する生徒の育成
② 学習意欲の向上と進路意識の高揚

（４）第３学年
① 主体的に学習に取り組み、希望進路を実現するために最後まで努力し続ける生徒の育成
② 最上級学年として、部活動や学校行事においてリーダーシップを発揮し、後輩の模範となる生徒の育成

Ⅵ　事務室
① 財産会計事務の適正な執行
② 学校運営方針に沿った予算の有効活用
③ 物品・財産の適正な管理

令和７年度 進路実績および部活動成績

合格者一覧(最近5ヶ年)

年度 / 区分	令和7年度			令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計	新卒	旧卒	計
国立大	38	2	40	34	2	36	23	2	25	23	3	26	29	3	32
公立大	58	2	60	42	1	43	58	1	59	49	2	51	34	1	35
国公立大計	96	4	100	76	3	79	81	3	84	72	5	77	63	4	67
私立大	293	27	320	338	7	345	279	12	291	225	19	244	186	15	201
大学校	2	1	3	2	0	2	5	1	6	5	1	6	8	0	8
国公立短大	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
私立短大	3	0	3	4	1	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5
専門学校	50	1	51	31	0	31	23	1	24	24	0	24	33	0	33
公務員	2	0	2	8	0	8	4	0	4	3	0	3	2	0	2
就職	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	3	0	3
合計	449	33	482	461	11	472	398	17	415	336	25	361	300	19	319
R8/4/1現在	6クラス			6クラス			5クラス			5クラス			5クラス		

令和7年度卒業生(78期生)の主な合格先

【国公立大学】

九州工業大学	7	広島大学	3	山口大学	4
熊本大学	2	佐賀大学	3	大分大学	7
長崎大学	1	宇都宮大学	1	滋賀大学	1
香川大学	1	琉球大学	1	福岡教育大学	7
北九州市立大学	34	下関市立大学	15	福岡県立大学	2
福岡女子大学	1	九州歯科大学	2	山口東京理科大学	1
島根県立大学	1	宮崎県立看護大学	1	名桜大学	1

【私立大学・専門学校】

西南学院大学	19	福岡大学	57	産業医科大学	3
青山学院大学	1	立教大学	1	中央大学	1
名古屋外国語大学	1	関西大学	5	関西学院大学	7
同志社大学	4	立命館大学	2	近畿大学	15
九州産業大学	53	福岡工業大学	30	北九州市立看護専門学校	7

令和7年度 部活動成績

全国大会出場

水泳部	[全国高校総体] 女子個人１名（５０m自由形・１００mバタフライ） [国民スポーツ大会] 男子個人１名（５０m自由形）

九州大会出場

水泳部	[全九州高校水泳大会] 男子個人１名（５０m自由形・１００m自由形）
水泳部	[全九州高校水泳大会] 女子個人１名（５０m自由形・１００mバタフライ）

県大会 出場

卓球部	団体男子、男子(ダブルス、シングルス)、団体女子、女子（ダブルス、シングルス）
バドミントン部	団体男子、団体女子、女子（ダブルス、シングルス）
書道部	女子１名
アート部	女子１名
放送部	女子３名

福岡県立小倉西高等学校ＰＴＡ規約

第１章　総　則

（名　称）

第１条　この会は、福岡県立小倉西高等学校ＰＴＡという。

（目　的）

第２条　この会は、学校・家庭・地域社会との密接な連絡と積極的な協力により、民主的教育の振興を図り、会員相互の知識・教養の向上を目的とする。ただし、営利を排し政党・宗教にかかわらない。また、学校行政の指導及び教育方針への干渉は行わない。

（事　業）

第３条　この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

１　教育環境の整備充実

２　教育目的達成のための調査研究

３　学校教育と家庭教育の連携

４　会員の研修と親睦

５　教職員・生徒の支援に関する事項

６　その他目的達成に必要な事業

第２章　組　織

（会　員）

第４条　この会の会員は次のとおりとする。

１　本校生徒の保護者

２　本校の教職員

３　本校の卒業生の両親、または保護者で会の目的に賛同する者は、理事会の承認を得て賛助会員となることができる。ただし、期間は１年に限る。

（事務局）

第５条　この会の事務局を福岡県立小倉西高等学校内に置く。

(権利と義務)

第６条　会員は、すべて同等の権利と義務を有し、この会の活動に積極的に参加するものとし、会の運営について意見を述べることができる。

１　会員は、所定の会費を納入しなければならない。ただし、理事会が必要と認めたときは、全額または一部を免除できるものとする。

（理　事）

第７条　この会に、次の理事を置く。

１　各委員会の正副委員長

２　各学年の学年主任ほか教師数名

（事務職員）

第８条　この会の事務を処理するために、事務職員を置くことができる。

１　事務職員は、会長が推薦し理事会で承認を得る。

２　就業規定・給与等は、別に定める。

第３章　役　員

（役　員）

第９条 この会に次の役員を置く。

会　長　１名　　副会長　４名　　書　記　２名（内１名は教職員）

会　計　２名（内１名は事務長）

（役員の選出）

第１０条　役員は役員選考委員会で選考し、年度当初の総会で選出する。

（役員の任務）

第１１条　役員の任務は次のとおりとする。

１　会長は、会務を総括し会を代表する。

２　副会長は、会長を補佐し会長不在のときは、その任務を代行する。また事故あるときは、その職務を代行する。

３　書記は、諸会議の連絡並びに議事を記録し、関係書類を保管し、会の事務を処理する。

４　会計は、会の経費を収納し、支払等を行う。

（役員の任期）

第１２条　役員の任期は、一年とする。ただし再任を妨げない。

第４章　機　関

（議決機関等）

第１３条　この会に、次の議決機関等を置く。

１ 総 会　２ 理事会　３　役員会　４　委員会　５　特別委員会

（総　会）

第１４条　総会はこの会の最高議決機関で、会長が招集し、年度当初に開催する。ただし会員の１０分の１以上の要請があった場合、または会長が必要と認めたときは速やかに臨時総会を開催しなければならない。

２　総会は、委任状を含めた会員の２分の１以上の出席によって成立し、出席者の過半数で議決する。ただし規約の改正は、出席者の３分の２以上の承認を要する。

３　総会の正副議長は、理事会構成員を除く会員中より選出する。

４　次の事項は、総会議決を経なければならない。

（１）規約の改正

（２）事業計画

（３）予算の審議及び決算の承認

（４）役員の選出

（５）その他、重要事項

（理事会）

第１５条　理事会は、役員と理事（委員会の正副委員長）・校長・教頭をもって構成し、会長が招集する。

２　理事会は、次の事項を審議し処理する。

（１）総会において付託された事項

（２）総会の企画・議案

（３）総会において決定した方針に基づく業務の遂行

（４）総会において決定した予算や活動計画の補正

（５）各委員会の連絡調整

（６）各委員会の立案した計画の承認

（７）特別委員会の設置

（８）その他、緊急事項

（役員会）

第１６条　役員会は、役員・校長・教頭・事務長・理事（委員会の委員長）で構成し、必要に応じて会長が招集する。

２　役員会は、総会及び理事会で決定した方針に基づいて、諸行事や緊急事項を検討し理事会に建議する。

３　教職員・生徒・会員の教育上の要請に応じ、意見を学校及び会に反映させるとともに、会員相互の連帯親睦を図る。

４　１学年・２学年・３学年、学年単位の会員相互と教職員との情報交換及び親睦を図り、また研修を行う。

（委員会）

第１７条　この会に次の委員会を置く。

１ 広報委員会　　２ 安全・安心委員会　　３ 学年委員会

４ 役員選考委員会　　５ 特別委員会

（委員会の目的）

第１８条　委員会の目的は次のとおりとする。

１　広報委員会は、会の活動を会員に報告するとともに、会員相互の意思の疎通を図る。

２　安全・安心委員会は、学校・公共機関と協力して生徒の校内外における健全育成・非行防止を図り、安心・安全な学校生活を確保する。

３　学年委員会は、生徒の保健体育及び教職員・生徒の福利厚生に関する事項及び、研修や調査活動を通じて会員相互の知識教養の向上を図る。

４　役員選考委員会は、理事会より選出された委員で構成され、会の役員（会長・副会長・書記・会計・監事）を選考し、総会に諮る。

５　特別委員会は、理事会が特に必要とした目的を達成するための事項を担当する。

第５章　会　計

（監事）

第１９条　この会の会計を監査するため２名以内の監事を置く。

２　監事は、総会において選任される。

３　監事は、役員、理事を兼ねることができない。

（事業費）

第２０条　この会の事業費は次の収入をもってあてる。

１　会員による会費

２　本会の趣旨に賛同する者の搬出金

３　その他の収入

（会　費）

第２１条　会費は会員１人あたり月額８００円とする。ただし、会費の額の改定については総会において決定するものとする。

（会計監査）

第２２条　監事はこの会の会計監査を行い、総会に報告する。

（会計年度）

第２３条　この会の会計年度は、４月１日から翌年３月３１日までとする。

附　則

１　この規約は昭和３２年５月１８日から施行する。

２　昭和５０年５月一部改正

３　昭和５０年１０月一部改正

４　昭和５１年５月１５日一部改正

５　昭和５４年５月１９日一部改正

６　昭和６０年５月１２日一部改正

７　平成１３年５月１２日一部改正

８　平成１７年４月２３日一部改正

９　平成１９年４月２１日一部改正

１０　平成２１年５月全面改正

１１　平成２３年４月２３日一部改正

１２　平成２４年４月２７日一部改正

１３　平成２５年４月２６日一部改正

１４　平成３１年４月２６日一部改正

１５　令和　２年４月２１日一部改正

福岡県立小倉西高等学校ＰＴＡ規約に係る表彰規定について

小倉西高等学校ＰＴＡ活動に尽力し、本会の発展に寄与したものに対し、下記のとおり表彰規定を定める。

記

1　表彰対象年度の第３学年の卒業時に生徒が在籍し、第３学年の保護者でＰＴＡ役員及び各委員会の委員長及び副委員長の役職者に表彰状の贈呈を行う。
　複数の生徒の入学に伴い再度役員等に従事する場合、その都度表彰の対象とする。

2　表彰はＰＴＡ総会時に行い、ＰＴＡ総会不参加の場合は、表彰状等を該当者の自宅に送付する。

3　表彰状には記念品（３，０００円の商品券）を添えて贈呈する。

令和７年４月１５日作成

昨年度奨学金募集一覧(昨年度学校へ依頼があったもの)

令和８年４月８日　各種奨学金係

教室掲示

この資料は、昨年度(令和７年度)に本校で募集をおこなった奨学金の一覧です。本年度、奨学金申込みを検討する際の参考にしてください。
申込みの際には、学校からの推薦書や成績証明書、役所で申請取得する住民票や所得証明書等が必要な場合があります。また、多くの奨学金で家計基準が設けられています。
募集要件や日程等が変更になっているものもあるので、必ず各奨学金ホームページや要項等で今年度のものを確認してください。
ここに掲載したもの以外にもさまざまな奨学金があります。奨学金の検索サイトもありますので、各自で検索してみてください。

＊《貸与》は卒業後、返還しなくてはならない奨学金です。(有利子・無利子あり)
【給付】は返還する必要がありませんが、採用条件が《貸与》より厳しくなります。

【在学採用】在学生(1～3年生)が対象で、高校在学中に支給されるもの

No.	奨学金等名称	予約/在学	貸与/給付	支給金額	募集人数	受給資格等（抜粋）	募集学年	募集期間 (校内〆切は10日前)	支給期間
1	吉本章治奨学会	在学	給付	月額15,000円	4月以降公表	・福岡県内に在住、高等学校に在籍する者 ・他団体からの奨学金を受けていない者 ・経済的な支援を必要とする者	全学年	～2025/4/22	2年間
2	夢を応援基金 「ひとり親家庭支援奨学金制度」	在学	給付	月額30,000円	400	・ひとり親世帯(母子家庭、父子家庭等)、経済的に困難 ・夢を実現するための意欲、社会貢献への積極的姿勢 ・母子協加盟団体の会員、入会を希望する者	全学年	2025/3/21～4/18	1年間
3	似鳥国際奨学財団 (2025年度下期)	在学	給付	月額35,000円	330 (下期・上期合わせて)	・日本国籍を有する ・ひとり親家庭	全学年	2025/2/21～5/21 (各自でWEB申請)	1年間
4	朝鮮奨学会高校奨学生	在学	給付	月額10,000円	未定	・日本の各高等学校に在籍している韓国・朝鮮人学生 ・成績優良(前年度評定平均値3.0以上)	全学年	2025/4/10～5/12 (校内5/2)	1年間
5	福岡県教育文化奨学財団 (在学募集)	在学	貸与	月額18,000円・15,000円 10,000円	なし	・保護者が福岡県内に生活の拠点を有している ・経済的理由により就学が困難	全学年	在学募集は (校内～4/28)	卒業まで
6	福岡県教育文化奨学財団 (緊急募集)	在学	貸与	月額18,000円・15,000円 10,000円	なし	・緊急募集は家計の急変による ・保護者が福岡県内に生活の拠点を有している ・経済的理由により就学が困難	全学年	緊急募集は随時	卒業まで
7	多田脩學育英會	在学	給付	月額20,000円 ※他の奨学金と併願・併給可	30名 (学校2名)	・当会の趣旨に沿い、道徳的人格の完成を志す方 ・家庭の経済的理由から学業に関する援助を必要とする方 ・1年生で国語力の高い方 ・心身健全で、かつ中学３年間の平均的成績が中以上の方	1年生	2025/4/1～5/16 (校内5/7)	卒業まで
8	あしなが育英会 (在学募集)	在学	給付	月額30,000円	800名程度	・保護者が病気や災害等で死亡、または、障がい認定を受けている ・経済的な支援を必要としている	全学年	～2025/5/20 (校内5/9)	卒業まで
9	人志奨学基金	在学	給付	月額20,000円 ※他の奨学金と併願・併給可	１０名程度 (学校1名)	・高校１年生 ・何らかの理由で経済的影響を受け奨学金を必要とする者 ・学業優秀(中学3年次の5教科評定平均値4.4以上)、品行方正かつ人物優秀	1年生	～2025/5/9 (校内4/30)	卒業まで
10	福島県奨学資金 (震災特例採用)	在学	貸与	月額18,000円(自宅通学)	なし	・県内に６ヶ月以上住所を有する ・震災時に生徒本人が福島県に住所を有し、勝つ保護者が県内に６ヶ月住所を有する ・原子力被災地域において被災し、修学が困難で、所得金額が基準以下であること	全学年	～2025/6/30 (校内6/20)	卒業まで

11	交通遺児育英会	予約＋在学	貸与	月額20,000 30,000 40,000円	400名	・保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭	全学年	～2026/1/31 (校内1/21)	卒業まで
12	福原育英奨学生	在学	給付	年額100,000円	1校1名	・福岡県内に居住、学業・人物優秀、経済理由的により就学困難 ・大学進学を目指す３年生	3年生	2025/5/7～6/13 (校内6/3)	1年間
13	ニビキ育英会	在学	給付	月額30,000円	50～70名 程度	・母子家庭、１年生 ・学業および人物良好(評定平均値３．０以上) ・経済的な理由により学資の支弁が困難	1年生	～2025/6/24 (校内6/13)	卒業まで
14	山田進太郎D&I財団 STEM(理系)女子奨学助成金	在学	給付	100,000円(一括)	抽選制 500名	・1,2年生で、STEM(理系)分野への大学進学等を考えている方 ・女性の方 ・過去に、本財団の奨学金または奨学助成金を受け取ったことのない方　※所得制限なし、成績証明不要	1,2年生	2025/9/30 (学校を通さず 各自でWEB申請)	本年度１回
15	北九州市高等学校奨学金	在学	貸与	月額18,000円	特になし	・北九州市に６ヶ月以上住所を有する ・修学意欲があり、経済的理由により修学困難 ・併給ができない他の奨学金あり	全学年	2025/6/10～校内6/27	卒業まで
16	杉浦奨学金 (北九州市文化振興基金)	在学	給付	年額100,000円	なし	・保護者が北九州市内に1年以上住所を有する人 ・芸術文化、学術、スポーツの各分野において優れた成績を残し、将来にわたりその分野において活動を継続しようとする人 ・将来的に北九州市の振興に積極的な貢献が期待される人物として、在学する学校の長の推薦を受けた人	全学年	2025/9/1～9/20 (校内9/19)	卒業まで
17	宮城県高等学校等 育英奨学資金 (被災生徒奨学資金)	在学	貸与	月額20,000円	なし	・保護者が宮城県内に住所を有し、東日本大震災により、福島第一原子力発電所災害地域で被災し、平成２３年３月１１日時点の居所が令和７年４月１日時点において帰宅困難地域になっており、東日本大震災を起因として修学が困難な状況にある生徒	全学年	～2025/10/2 (校内9/22)	1年間
18	がんの子どもを守る会	在学	給付	月額20,000円 ※他奨学金と併用可	小児がん30名 がん遺児140名 程度	・小児がん経験者、がん遺児 ・所得の制限があります	全学年	2025/11/1～2026/2/28 (校内2/18)	卒業まで
19	山九交通遺児奨学生 (北九州市)	予約＋在学	給付	月額15,000円	なし	・交通事故により主たる生計維持者である父又は母と死別していること ・経済的理由により修学が困難なこと ・北九州市内に住所を有する、又は主たる生計維持者が北九州市に住所を有すること	全学年	2026/1/15～2026/2/27 ※学校を通さず直接申請	卒業まで
20	本庄国際奨学財団	在学	給付	月額50,000円	15名	・国公立大学(短大は除く)への進学を目指していること ・1学年の通年成績が評定平均値が4.5以上あること ・家庭の経済状況または本人の生活状況が下記のいずれかに該当すること ①世帯の収入が800万円以下 ②社会的養護が必要(児童養護施設入所中や里親家庭等)	1年生	2026/1/13～2026/3/31 (校内3/19)	大学卒業まで

昨年度奨学金募集一覧(昨年度学校へ依頼があったもの)

教室掲示

【大学予約採用】３年生対象で、高校在学中に進学後の奨学金を予約申込みする。

21	あしなが育英会 (大学・短大・専修学校 予約募集)	予約	貸与	大学・短大 一般 月額40,000円 特別 月額50,000円 専修学校 月額40,000円	大学・短大 500名程度 専修学校 100名程度	・保護者が病気や災害等で死亡、または、障がい認定を受けている ・経済的な支援を必要としている	3年生	大学・短大・専修学校 １次募集～2025/6/20 (校内6/10) 大学・短大 ２次募集～2025/9/20 (校内9/10)	卒業まで
22	日本公務員弘済会 大学給付奨学生	予約	給付	月額30,000円	7名 (学校1名)	・国公私立大学へ進学 ・学費支弁困難 ・評定平均値4.0以上	3年生	2025/6/7～2025/6/30 (校内6/20)	卒業まで
23	交通遺児育英会	予約＋在学	貸与	大学・短大・専修学校予約 月額30,000 40,000 60,000円	在学400名 予約300名	・保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭	全学年	大学等予約 ～2026/8/31(校内8/21) ～2026/1/31(校内1/21)	卒業まで
24	読売育英奨学会 (大阪事務局)	予約	給付	コースによりいろいろあり	30名	・近畿地方及び岡山県・広島県・四国の大学、専修・各種学校、予備校に通学し、読売新聞販売店（YC）に勤務できる人	3年生	不明 学校を通さず、個人で申し込みます。	卒業まで
25	安川電機育英会	予約	給付	月額50,000円	5名	・募集要項に定める大学の理工系に在学し(予定)、学業、資質ともに優秀である者 ・学費の支出が困難と認められる者	3年生	～2025/6/20 (校内6/10)	卒業まで
26	キーエンス財団	予約	給付	月額100,000円	700名程度	・経済的支援を必要とする者	3年生	2026/2/2～4/3 (学校を通さず 各自でWEB申請)	卒業まで
27	那須記念財団	予約	給付	年額900,000円 (月額75,000円)	10名程度	・大学・短大・専門学校に進学希望 ・ひとり親および両親のいない家庭等に暮らす生徒、もしくは、障がい等のある生徒	3年生	2025/8/1～8/31 (校内8/21)	卒業まで
28	ビヨンドトゥモロージャパン 未来スカラーシップ ・プログラム	予約	給付	年額500,000円	なし	・ひとり親家庭等 ・年間を通じて行われるプログラム（ジャパン未来スカラーシップ・プログラム）への参加	3年生	2025/7/21～10/5 (校内9/25)	1年間
29	しのはら財団 アメリカ留学奨学金	予約	給付	最大年間5,000,000円	約10名	・アメリカの大学で学位（学士、修士、博士）取得を目指す方 ・年に2回程度開催される交流会等に参加、等	3年生	2025/7/1～8/22 2025/12/8～2026/2/6 ※学校を通さず直接申請	最長4年間
30	余慶会	予約	給付	年額900,000円 ＋受験費用補助金 上限100,000円	60名程度	・福岡県内の高等学校に在籍、2026年3月卒業予定の生徒 ・ひとり親家庭、里親家庭、児童養護施設等に入居している生徒 ・学習意欲が高く、日本国内の大学・短期大学・専門学校等への進学を希望する生徒	3年生	～2025/12/25 (校内12/15)	卒業まで
31	篠田重晃 障がい者大学進学助成基金	予約	給付	月額40,000円	福岡県・京都府 計8 名 (各校1名)	・向学心が強く、成績、人柄ともに優秀な者 ・障害者手帳を有している者	3年生	～2025/11/25 (校内11/14)	卒業まで

32	北九州市大学奨学生	予約	貸与	月額 国公立45,000円 私立50,000円 ※初年度４月増額貸付あり	なし	・北九州市内に６か月以上住所を有する、等 ・成績優秀で経済的理由により就学困難 ・他の奨学金の併給不可	3年生	2025/11/7～2025/12/8 (校内11/28)	卒業まで
33	日本通運交通遺児等支援 奨学金	予約	給付	月額30,000円	20名	・交通事故により保護者等を失うか、保護者等が重度の心身障害を負った方。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方 ・上記の理由で経済的に修学が困難であると認められる方 ・学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方	進学後	2026/4/1～2026/5/15 ※進学後に進学先で	卒業まで
34	ゾウさんの贈りもの	予約	給付	月額20,000円	最大10名	・福岡県内の大学・短大・専修（専門）学校に1年生として進学する者 ・世帯収入が600万円以下	3年生	エントリー 2025/10初旬～ 2026/3/25 (各自webで)	1年間
35	交通遺児育英会	予約	貸与	大学･短大･専修学校予約 月額30,000 40,000 60,000円	予約300名	・保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭	3年生	～2026/1/31 (校内1/21)	卒業まで
36	ニビキ育英会	予約	給付	月額80,000円 (併給可の奨学金あり)	40名～60名	・母子家庭 ・学業および人物良好(評定平均値３．５以上) ・経済的な理由により学資の支弁が困難	3年生	～2026/1/23 (校内1/13)	卒業まで
37	山九交通遺児奨学生 (北九州市)	予約＋在学	給付	大学･短大･専修学校予約 月額25,000円 入学一時金100,000円 一部他の奨学金と併給可あり	なし	・交通事故により主たる生計維持者である父又は母と死別していること ・経済的理由により修学が困難なこと ・北九州市内に住所を有する、又は主たる生計維持者が北九州市に住所を有すること	全学年	2026/1/15～2026/2/27 ※学校を通さず直接申請	卒業まで
38	笹川奨学金	予約	給付	米国US$15,000/年 英国￡11,000/年 入学、卒業時の一時金あり	なし	・指定された米国、英国大学への入学 ・日本国籍を有する ・団体が定めた催し物に参加 ・他の奨学金との併給制限あり	3年生	2025/12/18～2026/4/3 ※学校を通さず直接申請	卒業まで
39	石橋奨学会	予約	給付	月額80,000円	10名程度	・学術優秀、品行方正で、学資の支出が困難と認められる者。兄弟姉妹と重複しての応募は出来ない。 ・学資の支出が困難と認められる目安は、以下の何れかの条件とする。 ① 昨年度の世帯総収入金額が、700 万円以下 ② 扶養者の死亡等により来年度以降の学資の支出が困難と認められる場合	3年生	2026/1/5～2026/1/30 (校内1/19)	卒業まで
40	北九州市 若年者専修学校等 技能習得資金	予約	貸与	入学支度金 100,000円 月額 専門課程１年 53,000円 その他の課程 30,000円	なし	・指定の専修学校への入学 ・経済的理由により修学困難 ・他の奨学金等を受けていないこと	3年生	2026/4/1～2026/4/30 ※学校を通さず直接申請	卒業まで

※日本学生支援機構の予約奨学金については、書類が到着次第配布し、４月末（～５月初旬）予定の進路説明会で補足説明をおこなう予定です。

令和８年４月２８日

保護者等の皆様へ

福岡県立小倉西高等学校長

大規模改造工事について

平素より本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では、県教育委員会の指定により、生徒達が学校生活を安全かつ快適に過ごし、教育環境の向上を図ることができるよう、老朽化した学校施設の大規模改造工事が令和７年度から行われています。令和７年度は書道教室とパソコン教室の工事、及び仮教室を作る工事が行われ、出来上がった仮教室へクラスルームが移動しました。

全体的な工事概要及び今後実施予定の工事は下記のとおりとなっています。工事期間中は御不便をおかけしますが、県教育委員会、設計業者、施工業者と綿密な打ち合わせを行い、安全対策に努めながら工事を進めて参ります。

記

１．全体的な工事の概要

（１）工事箇所

体育館を除く施設

（２）主な工事内容

屋上防水：雨漏りを防ぐため、屋上の防水工事を行う

外壁改修：外壁のひび割れ部分を改修し、塗装を行う

内部改修：天井、梁、壁を改修し、安全性や快適性を向上させる

（３）工事方法

仮設校舎を作らずに、既存の教室を移動しながら改修を行う

（４）工期

令和７年度～令和１４年度

２．今後予定されている工事箇所（現時点での予定）

令和８年度：普通教室棟１～４階

令和９年度：特別教室棟３・４階

令和１０年度：特別教室棟１・２階

令和１１年度：管理棟３・４階

令和１２年度：管理棟１・２階

令和１３年度：武道場（含プール）及び食堂棟

令和１４年度：周行館（含弓道場）

令和８年度 県高Ｐ連の主な行事と日程

福岡県公立高等学校ＰＴＡ連合会

年	月	日	曜日	行　事　等
8	4	6	月	初年度文書発送（８年度会費納入等）
		9	木	７年度　第２回地区事務局長会議（福岡生活衛生食品会館）
	5	8	金	令和８年度単Ｐ会長等調査票提出期限 令和８年度表彰（個人・団体）候補の推薦書提出期限 **福岡地区　筑豊地区　総会**
		15	金	**北九州地区　筑後地区　総会**
		20	水	定期総会参加申込み締切日 会費納入期限 福岡県高Ｐ連ＰＴＡ賠償責任保険　掛金納入期限（加入校のみ）
		22	金	会計監査・第５回役員会（福岡生活衛生食品会館） 九高Ｐ連福岡大会申込締切日
	6	1	月	九高Ｐ連福岡大会入金締切日
		9	火	**定期総会**（福岡リーセントホテル）
	7	2	木	九高Ｐ連福岡大会ー委員会･理事会･総会･大会打合せ会　〈関係者のみ〉 （福岡市：福岡国際会議場）
		3	金	**九高Ｐ連福岡大会**（福岡市：福岡国際会議場）
		10	金	第１回地区事務局長会議（福岡生活衛生食品会館）
		17	金	第１回保険推進委員会（新旧）
		24	金	校長協会役員との教育交流会
		31	金	新役員研修会・第１回役員会・４委員会（福岡生活衛生食品会館）
	8	20	木	**全国高Ｐ連大分大会　分科会等**（別府国際コンベンションセンター他）
		22	金	**全国高Ｐ連大分大会　表彰式　記念講演等**（別府国際コンベンションセンター他）
	9	8	火	第２回４委員会･役員会（福岡生活衛生食品会館）
				県教育委員会陳情　未定　　（昨年度は９月４日開催）
		25	金	四Ｐ教育交流会
	10	8	木	第２回保険推進委員会（福岡生活衛生食品会館）
				県教育委員会陳情対談会＜行政・ＰＴＡ＞懇談会　未定（昨年度は１０月２８日開催）
		30	金	指導者研修会（福岡市民ホール）
	１０月～１１月中旬			**地区役員研修会（日程未定）**
	11	27	金	第３回４委員会･役員会（福岡生活衛生食品会館）